

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和5年2月13日(2023.2.13)

【公開番号】特開2020-90469(P2020-90469A)

【公開日】令和2年6月11日(2020.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2020-023

【出願番号】特願2018-229893(P2018-229893)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/39(2006.01)

A 6 1 Q 1/14(2006.01)

A 6 1 Q 19/10(2006.01)

A 6 1 K 8/37(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/39

A 6 1 Q 1/14

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 K 8/37

10

【誤訳訂正書】

【提出日】令和5年2月3日(2023.2.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)少なくとも1種のポリグリセリン脂肪酸ジエステル及び/又は少なくとも1種のポリグリセリン脂肪酸トリエステル、

30

(b)少なくとも1種のポリグリセリン脂肪酸モノエステル、並びに

(c)少なくとも1種の油、

を含む、組成物であって、

成分(a)が、ジオレイン酸PG-6、ジカプリン酸PG-6、トリカプリル酸PG-6、及びそれらの混合物からなる群から選択され、

成分(b)が、オレイン酸PG-2、カプリル酸PG-6、ラウリン酸PG-5、オレイン酸PG-5、カプリン酸PG-2、及びそれらの混合物からなる群から選択され、

成分(c)が、エステル油、人工又は天然のトリグリセリド、脂肪アルコール、及びそれらの混合物から選択され、

成分(a)及び(b)の平均HLB値が、8.0から11.0の範囲であり、

40

成分(b)の量/成分(a)の量の質量比が、0.6以下である、組成物。

【請求項2】

成分(b)の量/成分(a)の量の質量比が、0.5以下である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

成分(b)の量/成分(a)の量の質量比が、0.10以上である、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

組成物中の成分(a)の量が、組成物の全質量に対して、0.01質量%から20質量%の範囲である、請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項5】

組成物中の成分(b)の量が、組成物の全質量に対して、0.01質量%から20質量%の範囲

50

である、請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

組成物中の成分(c)の量が、組成物の全質量に対して、50質量%から98質量%の範囲である、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

無水である、請求項1から6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項8】

水を、組成物の全質量に対して、5質量%未満の量で含む、請求項1から6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項9】

10以上のグリセリン単位を有するポリグリセリン脂肪酸エステルを含まない、請求項1から8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

10以上のグリセリン単位を有するポリグリセリン脂肪酸エステルを、組成物の全質量に対して、5質量%未満の量で含む、請求項1から8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項11】

少なくとも1つのポリオキシエチレン単位を有する界面活性剤を含まない、請求項1から10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項12】

少なくとも1つのポリオキシエチレン単位を有する界面活性剤を、組成物の全質量に対して、5質量%未満の量で含む、請求項1から10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項13】

ケラチン物質からのメイクアップ除去用である、請求項1から12のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項14】

ケラチン物質の美容処理方法であって、請求項1から13のいずれか一項に記載の組成物をケラチン物質に塗布する工程を含む、美容処理方法。

【請求項15】

組成物をケラチン物質から洗い流す工程を更に含み、ケラチン物質からのメイクアップ除去用である、請求項14に記載の美容処理方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0069

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0069】

[ポリグリセリン脂肪酸エステルの平均HLB]

本発明によれば、成分(a)及び(b)の平均HLB値は、8.0から11.0、好ましくは8.5から10.5、より好ましくは9.0から10.0である。用語「平均」HLB値はここで、加重平均HLB値を意味する。

10

20

30

40

50